

医師会会員の皆さま、今回も多くのご寄稿をいただき誠にありがとうございます。今回はパワーハラ問題のお話や、台風6号の影響の話など、大変身近な話題を多く取り上げて頂きとても読み応えのある内容となっています。

さて、私の最近の重大事件としては、風呂場でガラケーを落として壊してしまった事です。つい最近までガラケーを使っていたことに関してはかなり周囲から不評を買っていましたが、私は全く不便を感じていなかったのもまたガラケーに買い換えるつもりでいました。しかし、ガラケーに買い換えるには一週間ほど時間を要するとの話で、最新のスマホなら今日持ち帰ることも可能だと言われて泣く泣くガラケー生活とお別れする事を決意しました。そして始まった私のスマホ生活ですが、確かに聞きしに勝る依存性があります。常にスマホのアラートに心乱され、夜間ディスプレイを見て不覚にも眠れない日もあり、ついYouTubeを見て長時間を過ごすなど、なるほどこれは凄い中毒性です。還暦を迎える私だからこそ、目がしょぼついてディスプレイを見る事ができなくて丁度良いのですが、健康な若い人はこのようなSNSに目がついていってしまうと徒に振り回されるに相違ありません。ChatGPTなどAIを駆使した様々なテクノロジーが私たちの創造性を凌駕する時代になり、既に将棋の世界はAIを駆使した戦略に対して、更にプロ棋士が次の想像力を発揮する基盤として利用しようとしています。AIはツールであり、人の叡智を超えるものではない、確かにそう思いたいのですが、実際には大学の論文を一部ChatGPTを参考にするなど、既にAIはこの世界に存在感を拡げています。

夫婦の会話をChatGPTに支援して貰えないだろうかと考えています。どこかのメーカーで夫婦の会話支援システムなど作ってくれたら売れるのではなかろうか。子供達が独立して皆家を出てしまい、私と妻二人だけの生活が続いています。子供達がいる間は、煩わしくはありましたが夫婦の会話は主に子供達の話に終始していました。今や還暦を過ぎた私たちの会話は弾みません。こんな時ChatGPTならどんな話題を持ち出してくれるのだろうかと思いついてしまいます。しかし待てよ、夫婦の会話はお互いに嫌な話は聞かないフリ、聞こえないフリをするのもまた趣があります。AIにこの夫婦の機微は理解出来ないでしょう。私のカミさんなど聞こえないフリの天才なのです。

広報委員 玉井 修

